

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和 7 年度 第 2 回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和 7 年 7 月 7 日（月） 19：00～20：15
開 催 場 所	高松市医師会館 2 階 大会議室
議 題	1 委員紹介 2 各部会からの報告 3 高松市在宅医療支援センターの報告について 4 その他
公 開 の 区 分	☐ 公開 ☒ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	相談対応にかかる個人情報を取り扱うため、情報公開条例第 7 条第 1 号、第 2 号に該当
出 席 委 員	20 人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、北代委員、安田委員、下村委員、林委員、三村委員、日下委員、永岡委員、岡野委員、古川委員、辻委員、藤原委員、中村委員、小松委員、石野委員、片山委員、松本委員、橋本委員
関 係 者	市医師会事務局（5 人） その他：医師会（伊藤会長、香西副会長、香川理事、佐用理事、塩見理事） 歯科医師会（真田副会長）
傍 聴 者	4 人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 保健医療政策課 839-2860 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811

協議経過及び協議結果

1 委員紹介

- ・委員の変更があり、紹介を行う。

2 各部会からの報告

(1) 退院支援・医療介護連携部会

○入退院支援ルールの見直しについて

- ・栄養に関する診療報酬加算の追記を行う予定。
- ・2040 年問題やその他の診療報酬改定内容等も踏まえた内容にアップデートしていく予定。

○令和 7 年度第 1 回医療介護連携ミーティングについて

【開 催】令和 7 年 8 月 3 日 【場 所】高松市医師会 5 階ホール

【テーマ】独居高齢者の意思決定～成功・困難事例を通して学ぶ～

- ・事例集の作成等、医療介護連携ミーティング以外の場でも活用できるような形で成果物を残したいと考えている。
- ・ミーティングの進行として、実践報告やパネルディスカッションの内容をまとめたものを配布し、活発な意見交換を促進したいと考えている。

(2) 在宅医療コーディネーター部会

- ・養成研修は昨年度で終了した。今年度は、スキルアップのための取り組みを行う事を検討している。

委員より

- ・ユマニチュードについて取り上げて、その啓発を在宅医療コーディネーターに担ってもらう等の案も検討していけばどうか。

(3) 多職種連携部会

- ・多職種連携研修会開催に向けて、次回から部会を開催して検討していきたいと考えている。

(4) ICT 部会

○在宅ケア便利ナビの掲載について

- ・現在掲載中の事業所の中で、閉業しているものや名称変更、移転等による住所変更等による削除及び修正件数について報告する。
- ・新規掲載医療機関 1 件について報告する。

委員より

- ・在宅ケア便利ナビと言う名称であるから、訪問診療不可の医療機関を掲載する必要はないのではないか。
- ・資源マップなので、訪問診療不可の医療機関も含め、掲載すべきではないか。
- ・掲載依頼時には、訪問診療不可であっても将来的には、訪問診療を行うことができるように働きかけていけたら良いのではないか。

3 高松市在宅医療支援センターの報告について

○令和 7 年 5・6 月の活動報告

【相談件数】5 月：12 件、6 月：23 件

○高松市在宅医療支援センターだより

委員より

- ・高松市在宅医療支援センター拡充について、バックアップしていきたいと考えている。在宅医療支援センターは、地域包括支援センターのカウンターパート的な役割として、記載されている(在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.4 図 1 参照)にも関わらず、地域包括支援センターに比べて、窓口が小さすぎるのではないか。高松市在宅医療支援センターの大変さを聞きたい。
- ・現状、在宅医療支援センターでは対応できないほどの相談があるという状況ではない。在宅医療に関する相談以外の電話対応も行っているので、在宅医療に関する相談件数としては、直ちに拡充する必要はないのではないか。

高松市在宅医療支援センター

- ・対応時間が 9 時から 16 時であり、時間外に対応することもあるので、対応時間を長くすることが市民にとっては相談しやすい可能性はある。

- ・時間外の電話受付件数については、多くはない。相談員としてではないが、時間外にかかってきた電話は、支援センター職員が対応しており、翌日に相談員から、かけなおす等の対応をしている。
- ・現在、相談員 2 名体制の中でできる業務に取り組んでいる。

4 その他

○厚生労働省医政局との連携について

- ・ ACP の啓発に取り組んでいる厚生労働省医政局が、今年度、高松市と連携したいという意見が出ている。厚生労働省の方で、予算を確保しており、ACP の普及啓発について何か取り組みめないかという相談がきている。

○高松市版「人生会議しませんか」DX+AI の活用について

- ・在宅医療介護連携推進会議で作成した、人生会議パンフレットをデジタル機器と AI を活用して、人生会議をやりやすくすることはできないだろうか、と提案があった。
- ・参考資料として紹介するクラウドノート（委員が個人購入している AI ボイスレコーダー）は、録音した内容を、ChatGPT を活用して文字起こしをすることが可能である。あらかじめ書式等について指示しておけば、決められた書式にそって文字起こしや要約をすることも可能である。

委員より

- ・人生会議を録音したものを、在宅医療介護情報サイト上に設置した AI 議事録システムにて文字起こしし、MCS（メディカルケアステーション：多職種連携ツール）等で共有できないだろうか。
- ・個人情報に関する検討が必要ではないか。

○その他

（参考）第 6 回 高松市在宅医療介護連携推進会議 資料 4-1

【次回の会議】

令和 7 年 9 月 8 日（月） 19：00～ 高松市医師会 2 階 大会議室